

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援窓口Thank you		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の意識が高く、真摯に業務に向き合う職員しか在籍していない	残業のない、勤怠体制を組んでいる ICT化を積極的に進め、業務の効率化をおこなっている 日頃から職員同士がコミュニケーションをとれる関係性を構築している	記録や議事録の記入短縮にAIレコーダの導入等を検討している
2	社会福祉士、保育士、言語聴覚士など専門性のある職員を雇用し、子どもの育ちのプロによる支援を実施している	無資格者を置かない 多職種の人材を雇用し、多方面の角度から支援についての方向性を日々模索している	理学療法士の雇用を準備している
3	療育内容にテーマを設け、子ども一人一人の目標に合わせた支援内容を日々提供している	各児童の個別支援計画をまとめた、支援ポイント表を作成し療育担当者が可視化でき、目標に沿った支援になる工夫をしている	専門的支援を有効的に使用し、個別で伸ばす箇所と小集団で伸ばす箇所に合わせて支援をしていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	実施した療育内容が積みあがっておらず、毎回1からの準備となり時間を要している	その日の担当者がバラバラの為、まとまった情報となっていない	日々の療育内容をテーマごとに溜めていき、他の職員が準備をする際の参考になるような表を作成する
2	職員によって業務遂行量力にばらつきがある	業務を一人で抱え込んでしまい、停滞が生まれている 報連相が徹底できておらず、抜け漏れがおきる	職員の強み、弱みに合わせ、業務管理が苦手な職員にはチェックリストを用意し、業務の見える化を図っている
3	責任感や自己犠牲が強くなりすぎることがある	優先順位がつけれていない 一つの業務にかかる時間数を意識できていない	まずは、業務にかかる時間を自身が知ることで、対策を考える 向いていない業務の場合は担当を変更する

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援窓口Thank you				公表日	2026年 3月 末日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	流れが分かるよう、視覚支援（絵で見てわかる）をしている			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	自由に使える部屋を2部屋用意している	様々な用途で使用するため、机やテーブルが置いてあり、危険と思われる時がある		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	毎年実施しており、ホームページでの公表をし、職員での振り返りにも使用している	公表されている事を知らない職員がいた まずは職員への理解をさせる事が必要		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		今後、実施をする必要検討中		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	職員のステージに合わせて研修に参加をさせている	公表していることを知らない職員がいたので、周知徹底をしたい		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	自社ホームページ内での公表をしている			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	都度、カンファレンスを実施している			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		発達過程やライフスキルについてのアセスメントツールを利用していきたい		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	担当者が決めているが、運動テーマは皆で検討し、プログラムの共有も実施している			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3	緊急時や注意事項があれば当日打合せを行っている 定期的な会議で情報共有をおこなっている	出勤から送迎にも出る兼ね合いで療育担当全員で打ち合わせを実施するための意識や準備をする必要がある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	状況に応じて振り返りを行っている 定期的な会議で情報共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	相談支援事業所と連携を取り進めている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	保育所等訪問を通して情報共有、相互理解を図っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	保護者からのニーズがあれば情報共有を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-	-	対象外	対象外
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-	対象外	対象外
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-	対象外	対象外
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	5		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	系列会社運営の児童クラブとの交流や入居テナント開催のフェスティバル/出店などを行っている	児童発達での交流の機会が少ないので増やしていきたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	記録には写真を添付したり、見える療育を展開している	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	父母の交流会は定期的に様々なテーマに沿って実施をしている		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時、しっかりと説明をしている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	契約時にアセスメントを実施し、療育前に個別支援計画の確認をして頂き、保護者様の意向に沿ったものになっているかを丁寧に確認している	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	相違がないかの確認を必ずおこなっている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	普段からご相談を話せる関係性の構築を続けている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	父母の交流会は定期的に様々なテーマに沿って実施をしている	兄弟児の交流の場は設けられていない 要望があるのか、アンケートにて意見を集めたい
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	2		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	施設での避難訓練や入居テナントでの避難訓練も実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1	服薬や予防接種の確認が取れた際は普段との様子の違いが無いか注意深く見守っている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	契約時にはアレルギー有無の確認の書面を提出して頂いている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2	計画は年度初めに作成をし、共有している	適正な研修が確立できていないので、今年度中に研修方法を確立させたい
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		紙面のご案内は伝わりづらい所があるので、今後は保護者会を通してお伝えの機会を設けて参ります
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		事案のあった翌日までに報告書を記載し、対応策を職員間で共有できるようにしている
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		年に2回の研修と、懸念事項が発生した時点で当日中にMTGを実施している
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0			